



／ 学研高山地区ゲートエリア ／



まちづくり協議会ニュース

創刊号

令和7年1月

学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会が設立されました！

ゲートエリア（下図参照）において、多くの地権者の賛同が得られたことから、「学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会」の設立総会が開催されました。設立総会では、生駒市長 小紫雅史 氏による来賓あいさつの後、議決事項等について審議し、今後の予定について共有を図りました。当日は、権利者86名のうち、69名の出席（委任状、議決権行使含む）のもと、すべて賛成多数で承認されました。

また、関西文化学術研究都市推進機構常務理事 河合智明 氏より記念講演をいただきました。

今後は先行地区である学研高山地区南エリアに続き、まちづくりの具体化に向けた検討を進めてまいります。

開催概要

日時：令和6年12月25日（水）13:00～

場所：北コミュニティセンターISTA はばたきはばたきホール

- 内容：1. 開会
2. 来賓あいさつ（生駒市長 小紫 雅史 氏）
3. これまでの経過概要について
4. 議長選出
5. 議決・承認事項

議案第1号：規約について

議案第2号：役員の選任について

6. 報告事項

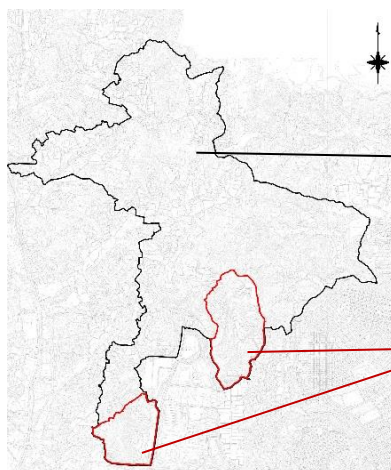
報告第1号：今後の予定について

7. 記念講演

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

常務理事 河合 智明 氏

8. 閉会



学研高山地区
第2工区

学研高山地区
ゲートエリア

ゲートエリアまちづくり協議会設立の賛同状況

目標の7割を超える**76.1%**の方々が設立に賛同

(令和6年12月20日現在)			
地権者の居住区	地権者数※	賛同者数	加入率
高山町・鹿畑町	46	38	82.6%
上記を除く市内 (生駒市を含む)	13	11	84.6%
県内市外	21	17	80.9%
県外	33	20	60.6%
合計	113	86	76.1%

※地権者数について、共有地については代表地権者を1とする。

ゲートエリアまちづくり協議会会長 今井 正徳氏によるあいさつ

先行する南エリアに続き、ゲートエリアにおいても本日まちづくり協議会の設立を迎えることとなりました。

第1工区の開発から約30年が経過し、土地の荒廃が進み、手つかずのまま放置されてきましたが、再び日の目を見たこの機会を最後の機会と捉え、必ず実現しないといけないと考えます。役員を中心に地権者が一致団結して大きな力となって事業を推進していきたいと思っておりますので、どうか皆様のご協力ご支援を心からお願い申し上げます。



まちづくり協議会の役員構成一覧

会長	今井 正徳
副会長	松山 治幸
	生 駒 市（副市長 領家 誠）
運営委員	久保 幸作
	柴田 敏男
	白川 久一
	素盞鳴神社
	田中 彰
	古川 武良
	村田 卓司
	吉岡 照子（代理：吉岡正純）
	※敬称略・順不同



ご来賓の皆さまと役員の皆さま

※事前に送付した議案書では素盞鳴神社様の字に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

生駒市長 小紫 雅史氏によるあいさつ

本日は、まちづくり協議会の設立おめでとうございます。地権者の方々、関係者各位におかれましては、事業の具体化に向けてお力添えいただき感謝申し上げます。

学研高山地区第2工区は生駒市のまちづくりの1丁目1番地として掲げていますので、こうして事業が具体化していくことを大変うれしく思います。学研北生駒駅北地区の事業、学研高山地区の先行地区である南エリアに続く形でゲートエリアでもまちづくり協議会が設立されるということで、事業進捗が活発化してきているところです。

ゲートエリアは、学研高山地区第2工区の玄関口であり、尚且つ奈良先端大と隣接する地区でもありますので、奈良先端大と連携を図りつつ玄関口であるゲートエリアに相応しいまちづくりのあり方を考えていくためにも、皆様には引き続きお力添えいただきたく思います。

また、先行して進んでいる学研北生駒駅北地区、学研高山地区南エリアと連動してまちづくりを進めていき、この事業が生駒市、そして奈良県にとっても大きな希望の光となりますよう今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。



講演「学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会設立にあたって」

関西文化学術研究都市推進機構常務理事 河合 智明氏

今から約50年前にけいはんな学研都市の整備が始まり、大学の壁、学問の壁を超えて新しい形の大学・大学院を作ろうと、高山地区に奈良先端科学技術大学院大学が1991年に設立されました。

奈良先端科学技術大学院大学をはじめとするけいはんな学研都市は、先端技術が生まれる地でございますので、来年度の大阪関西万博に合わせて、けいはんな学研都市でもけいはんな万博と称する取り組みが進んでいます。

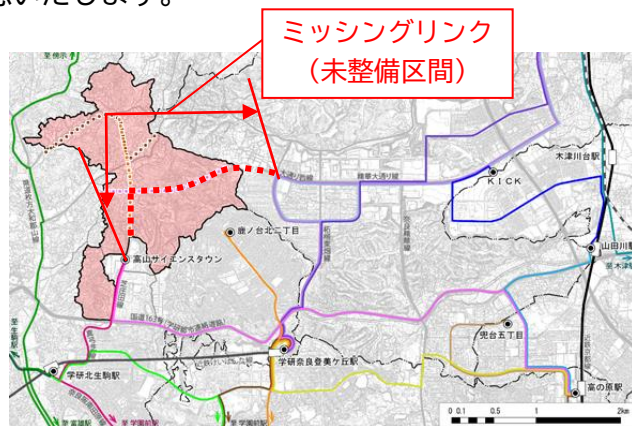
けいはんな学研都市の現在の大きな課題の一つは、研究開発を進める研究所の用地が不足しているという点です。都市開発をより一層進めていくことで、けいはんな学研都市の新しい研究所、産業・企業の集積に繋がっていきます。高山地区は、隣の精華西木津地区と連動する形で、けいはんな学研都市において中核を担うエリアになります。中核部分の背骨となる道路が途中で止まっているという状況ですので、この道路が163号バイパスとけいはんなを結び付けることで、ミッシングリンクの解消に繋がります。

また、最先端の研究開発を都市実装していくことで、先端技術が社会に還元される、豊かな都市作りが進みます。大学発スタートアップや、新しい産業育成、また新たに立地される企業の誘致が進むことで、新産業の育成、そして地域の活性化に繋がっていきます。まさしく学研高山地区は未来へのゲートウェイとなるような開発ではないかと感じています。



高山地区の開発は、今回の万博が開催される夢洲からけいはんな学研都市を結び、関西のイノベーションの東西軸の形成に活かせる様々なポテンシャルを持った開発事業だと期待しています。

これから高山地区のまちづくりがどんどん実現化して、新たな都市が形成されていき、学研都市にとどまらず関西、日本を支えるようなエリアになっていただくことを祈念いたします。



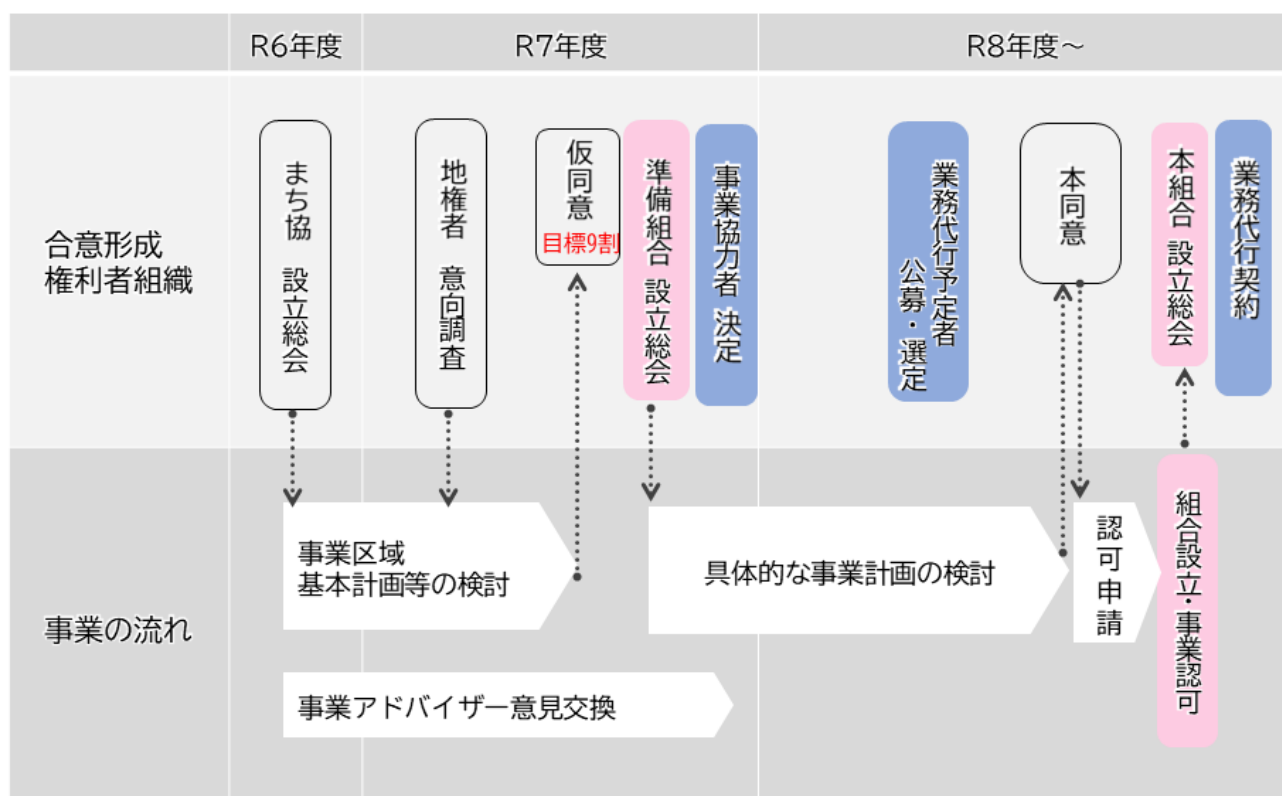
学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会って？

本協議会は、学研高山地区第2工区全体のまちづくりに波及するさらなる一歩となるよう、南エリアに続くまちづくりの具体化に向けて設立した組織であり、学研高山地区第2工区のうちゲートエリアの地権者が中心となって構成されています。

本協議会は今後、土地区画整理準備組合を立ち上げることを目的とし、適切な土地利用を検討し、まちづくりの事業推進を目指します。



まちづくり協議会の今後の予定



今後は、事業区域の設定やまちづくりの基本方針、基本構想を含めた基本計画の検討を進めていく予定です。この検討段階においては、土地利用の方針を定めることを目的に、地権者の意向調査を行う予定です。また並行して事業アドバイザーとの意見交換を行い、具体性のある計画検討に繋げていくことを想定しています。

基本計画等がまとまりましたら、それら計画等に基づき事業の具体検討を進めることについて、仮同意の取得を行い、一定の合意形成が図られた際には、土地区画整理準備組合を設立する予定です。それと並行して、事業検討を一緒に取り組むパートナーとして、事業実績のある事業協力者の選定も進める予定です。

準備組合の設立後は、事業協力者と共に具体的な事業計画の検討を進め、業務代行予定者の公募、選定を踏まえて事業計画や定款を定めた上で、認可申請、組合設立の流れとなります。

～ 事務局から皆様へ ～

△ お 願 い △

次のような場合は、下記事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

- ・土地の売買や相続等による権利変動が生じた場合
- ・お引越しによる住所変更など連絡先に変更が生じた場合
- ・婚姻などにより氏名等に変更が生じた場合

◎ 加入者募集中 ◎

現在も引き続きまちづくり協議会への加入を募っておりますので事務局までご連絡ください。

まちづくり協議会の詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000036720.html>

発 行：学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会
事務局：生駒市都市整備部学研推進課内
電 話：0743-74-1111(内線 3860)FAX：0743-74-9100
E-mail：gakken@city.ikoma.lg.jp

